

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.28.10.5

No.50

太陽の船

エジプトと言えば、気候帯は**乾燥帯**に属しているので**一年中暑い**というイメージをもっている人がいると思います。しかし、エジプトにも日本ほど明確ではありませんが**四季があります**。大まかに、**3・4月が春、5～10月が夏、11・12月が秋、1・2月が冬**といったところです。確かに、夏の暑い時期が約半年続きます。**カイロは北緯約30度**なので新潟ほど寒くはなりませんが、**室内では暖房が必要**だし、**外出する時はジャンパーが必要**なくらい寒くなります。**カイロの11月は最高気温が25℃前後**でとても爽やかで一番の観光シーズンです。

とてもいい季節なので、毎日見ているのですが、ギザの**三大ピラミッド**に行ってきました。

一番大きいクフ王のピラミッドのすぐ脇で、「**太陽の船**」(右の写真)と「月の船」が見つかっています。「**太陽の船**」は、**1954年に分解された状態で発見**されました。その発見は偶然で、ある人が昼食をとるために玉ねぎを石の上に置いて叩き割ったところ、石の下で音が響き空間があることに気がきました。そこを掘ってみたら広い空間があり、そこに分解された船がありました。この船の目的ははっきりと分かっていませんが、**クフ王が実際使った船**だという説もあれば、**クフ王が来世で使うため**だという説もあります。船の大きさは**全長約42m**あり、**多数の部品を組み立てて船を復元するまでに28年**かかっています。木材は、レバノン杉が使われています。



「太陽の船」と呼ばれるのは、クフ王の死後神として日中(太陽が出ている間)船に乗り天空を渡るとされており、そのためにつくられたと考えて「太陽の船」と呼ばれています。そうすると夜を渡る船も必要で、それが「月の船」になります。この「月の船」は、1987年に早稲田大学の吉村作治さんが発見し、現在復元中です。

今から**約4500年前**に**ピラミッド**やこのような船を造った**古代エジプト人の偉大さ、スケールの大きさを改めて実感**しました。私が訪れた日は、たくさんの観光客で賑わっていましたが、エジプト経済の悪化が心配されておりますが、以前のように世界中から観光に来ることができるように政治も安定してほしいと願っています。



三大ピラミッドを眺めるラクダ
(左から、クフ王、カフラー王、メンカウラー王のピラミッド)